



2007年3月期 報告書
2006年4月1日～2007年3月31日



「変化」から「進化」へ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
2007年3月期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

2007年3月期の当社グループは、将来の企業規模拡大を目的にホールディングス体制へ移行し
グループ事業力の向上・強化を図りました。

当期の業績

2006年度のSRAホールディングスとして初めての決算につきましては、連結業績は好調な受注環境を背景に、売上高は、システム開発事業において、金融分野、流通分野、製造分野が増加し、コンサル・サービス事業の機器販売が増加したことにより、367億65百万円（前年同期比7.7%増）となり、中期経営計画最終年度の計画（売上高増加率8%）をほぼ達成することができました。経常利益は、売上増に伴う粗利益の増加、粗利益率の向上、生産性の向上、販管費抑制の継続により29億23百万円（前年同期比65.9%増）となり、当期純利益は、20億15百万円（前年同期比115.9%増）となって、

3期連続で最高益の結果となりました。さらに、連結経常利益率は8%となり中期経営計画の最終年度目標を前倒しで達成いたしました。

配当金につきましては、一過性の要因である技術センター売却益を除いた連結配当性向20%を目処とし、1株当たり普通配当20円、記念配当5円、合計25円といたしました。また、株主のみなさまへ配当金を少しでも早くお手元に届けられるよう配当金の支払開始日を6月12日に早期化しました。



代表取締役社長

鹿島 亨

中期経営計画最終年度の目標達成に向けて

2007年度は中期経営計画最終年度の目標達成に向けて以下の諸施策を実施してまいります。

①事業環境の良さを積極的に取り込む

- ・金融ビジネスの拡大
- ・組込系ビジネスのさらなる拡大
- ・先進技術を活かしたビジネス展開

②オフショア開発の推進

- ・オフショア開発の中継拠点としてシンガポールに設立した子会社を積極的に活用

③“技術のSRA”のさらなる発展

- ・戦略に基づく先進技術のビジネスモデル化
- ・先進技術を活かした品質向上・生産性向上

さらに、グループ経営会議、グループ営業会議の開催による戦略的営業の推進やシェアードサービスの効率化を推進して「グループ・シナジー」の構築・強化を行い、2007年度の計画は連結売上高400億円（売上高増加率8.8%）、経常利益34億円（売上高経常利益率8.5%）の達成に取り組んでまいります。また、配当につきましては、前期の記念配当を普通配当に組み入れ、1株につき25円を予定しております。

※前年同期比は株式会社SRAの2006年3月期連結業績との比較

新中期経営計画を策定し目標達成をめざします

2007年度は、当社グループが創立40周年を迎える節目の年でもあります。

グループ一丸となって現行の中期経営計画を達成し、

2008年度以降への布石を打つべく新中期経営計画を策定いたします。

さらに、情報サービス業界で競争に勝ち抜くためには、

プライム企業としてユーザーから信頼される企業規模を保つ必要があります。

当社グループは、1,000億円規模の連結売上高、売上高経常利益率の2ケタを目標に置いており、そのための方策の一つとしてM&Aも活用してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、

引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

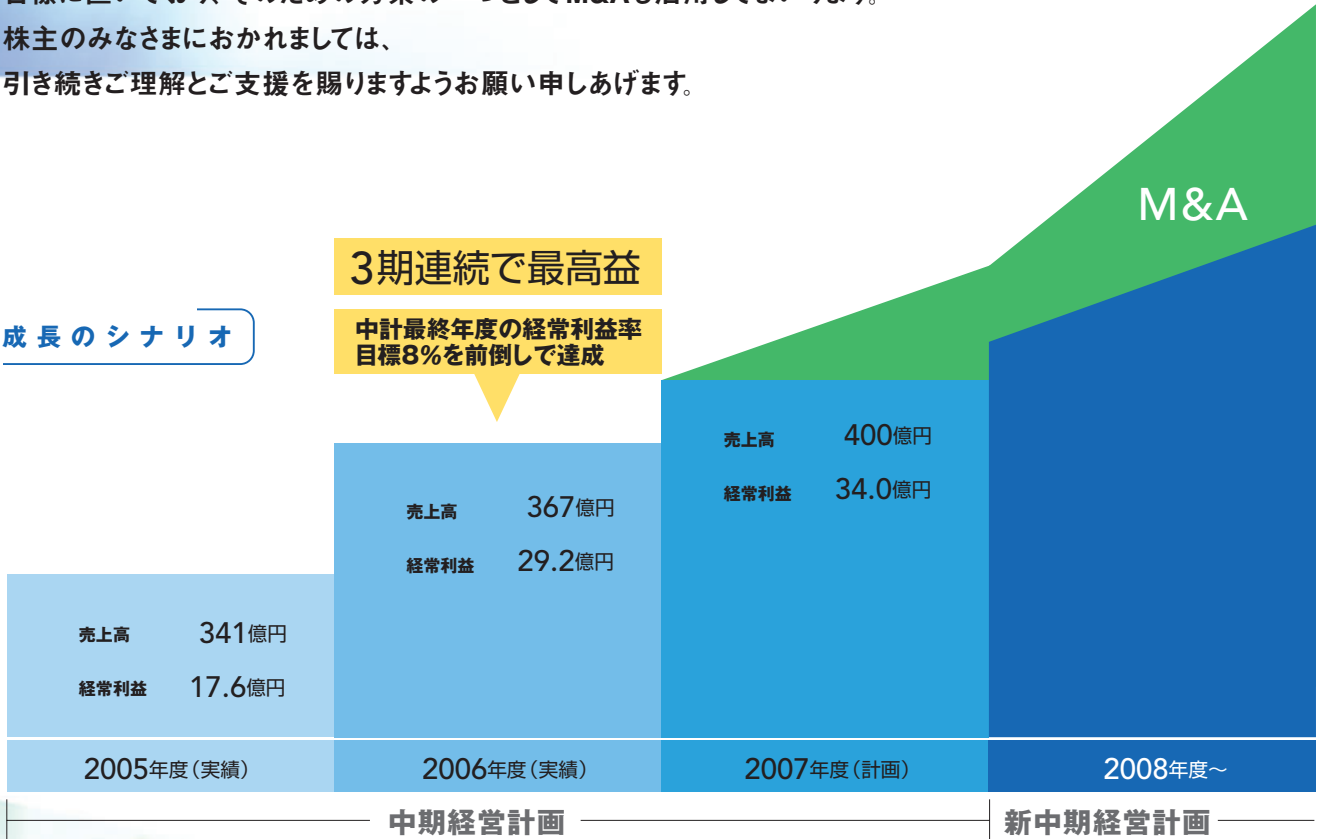
売上高
1,000億円規模

経常利益
2ケタ経常利益率

成長のシナリオ

3期連続で最高益

中計最終年度の経常利益率
目標8%を前倒しで達成

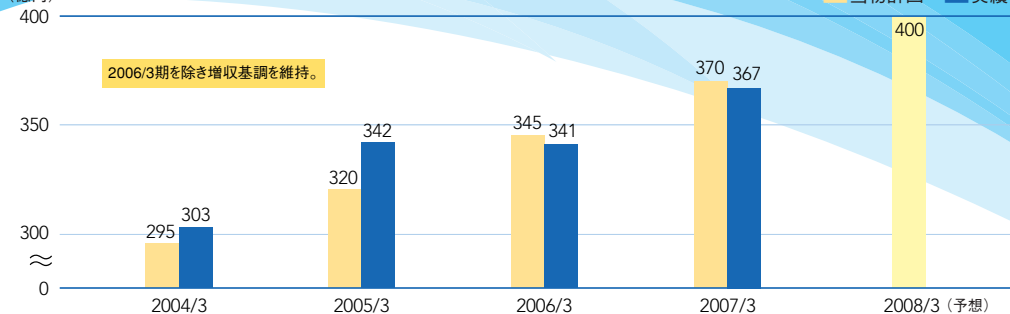


SRAホールディングス体制

業績

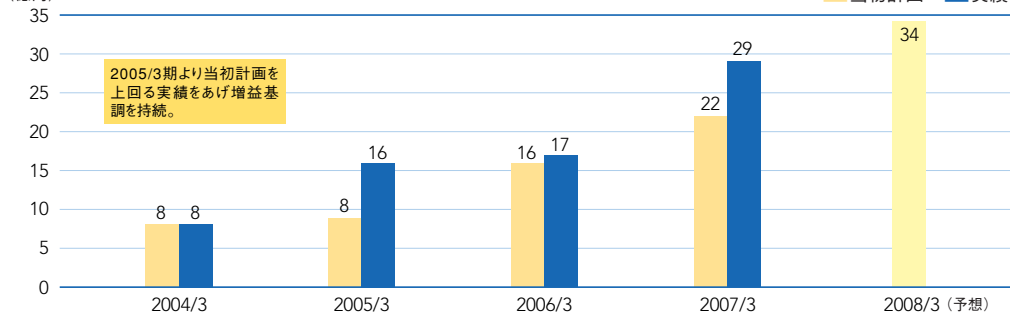
連結売上高推移

(億円)

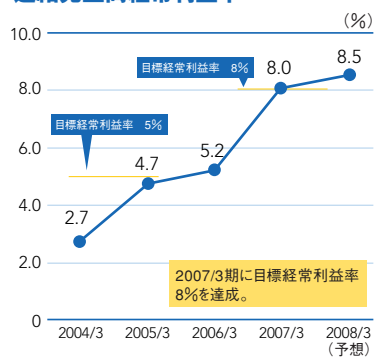


連結経常利益推移

(億円)



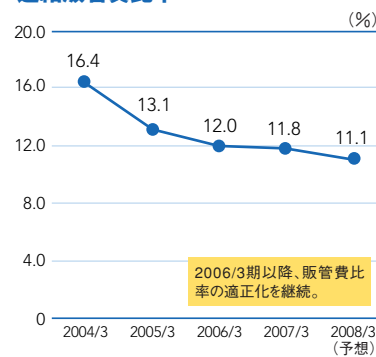
連結売上高経常利益率



連結自己資本当期純利益率(ROE)



連結販管費比率



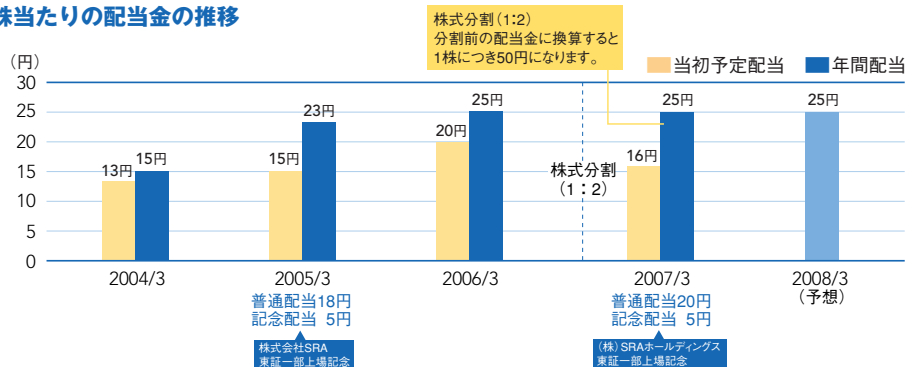
※2007年3月期以前は株式会社SRAの連結実績

配 当

連結配当性向20%をめどに利益還元を目指します

当社は、収益状況に応じて、株主のみならずへの利益還元を充実させるとともに、業界の急速で革新的な技術進歩に対する開発環境の整備と研究開発、さらには将来の事業展開に備えるため内部留保に努めることを利益配分における基本方針としております。

1株当たりの配当金の推移



	単体配当性向			連結配当性向	
決算期	2004/3	2005/3	2006/3	2007/3	2008/3
配当性向	49.6%	34.5%	33.2%	23.7%※	20.1% (予想)

※一過性の要因である技術センター売却益を除いて算出

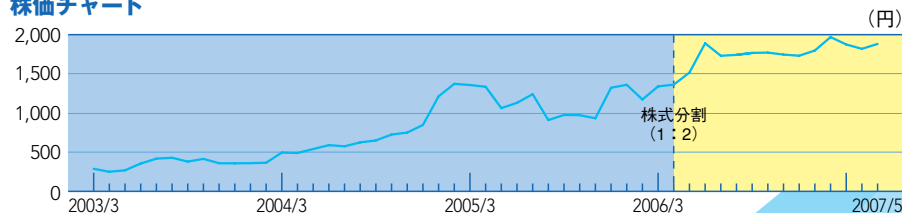
会社の利益配分に関する方針

単体配当性向 30%目処

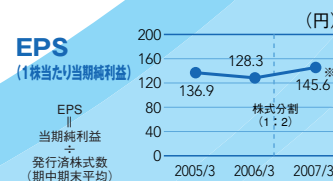
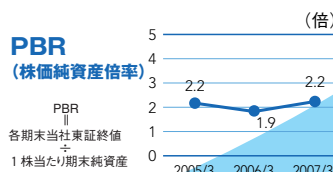
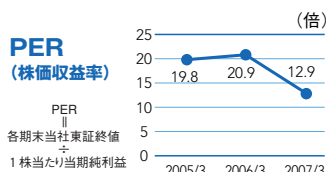
連結配当性向 20%目処

株 価 PER PBR EPS

株価チャート



※2006年4月以前の株価は、株式分割調整後の数値



※株式分割前の1株当たり当期純利益291.3円に相当

特集

SRAグループは3つの強みを活かして 中期経営計画の達成をめざしてまいります



1. 大手顧客基盤

金融機関、通信業、電力、製造業等の業界を代表する大手企業を顧客とし、継続的・安定的な取引を行っていることが強みであります。

また、これらの優良な顧客基盤に対し、案件マネジメントの強化と顧客セグメント別マーケティングの実践を行います。

2. Global Reach

業界に先駆けて海外拠点を設置し、グローバルな事業展開に取り組んできた強みがあります。また、世界的なSRAグループのネットワークを活かし、オフショア開発を推進するグローバルソーシング+高付加価値ビジネスを推進するグローバルサポートの展開で売上高の拡大をめざします。

3. 技術優位性

「ソフトウェア価値の確立」をめざした独立系ソフトハウスとして設立以来、一貫して「技術のSRA」を指向し、特にオープンソースソフトウェアの分野において技術優位性を確保している強みがあります。SRAグループの技術先進性を活かして、新ビジネスの創出、新規事業の立ち上げに取り組んでまいります。

- 戦略に基づく先進技術のビジネスモデル化: SOAとその関連技術、セキュリティ技術
- 先進技術を活かした品質向上/生産性向上: Ajax、各種フレームワーク、オフショア生産技術

進化するSRAの技術

技術指向、未来指向をめざすSRAグループは、他社に先駆けてSOAに着目し、SOAとOSSを組み合わせたビジネスを展開しています。

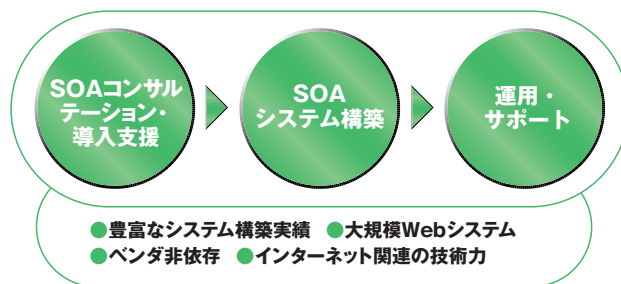
SOA/Web Services

提携先である米国企業との連携のもと、日本初のSOAによるシステム開発から運用・保守にいたるまでのトータルサービスを、2004年から本格的に開始しました。今後、新規顧客および市場開拓に向けて、セミナーや教育事業を展開しています。

Open Source Software

オープンソース分野でのカスタムソフトウェア、コンポーネント化など、アプリケーション開発で優位性を確保するため、ミドルウェア分野の開発環境整備 (OpenWeb) を推進します。また、OSSデータベース「PostgreSQL」、「PowerGres」等のプロダクトビジネスを中心とし、コンサルティングからシステム開発・運用・保守まで全ての局面で高品質のサービスを提供し、オープンソースビジネスの世界市場をめざした事業拡大に取り組めます。

SRAグループが提供する SOA/Webサービストータルソリューション



技術のSRAのさらなる発展

戦略に基づく先進技術のビジネスモデルの確立に向けて

巨大化するITシステムを、ビジネス環境の変化にどのように即応するかという問題に対し、SRAの先進技術を活用したSOAトータルサービスでお応えします。
SRAグループは山形県庁と共同で、業務システムを国内で先駆けてオープンソースソフトウェアによるSOA基盤を活用してシステムを構築しました。

従 来



今までの問題点

- システムが巨大化していてビジネス環境の変化に相応できない
- システムのメンテナンス性が悪い

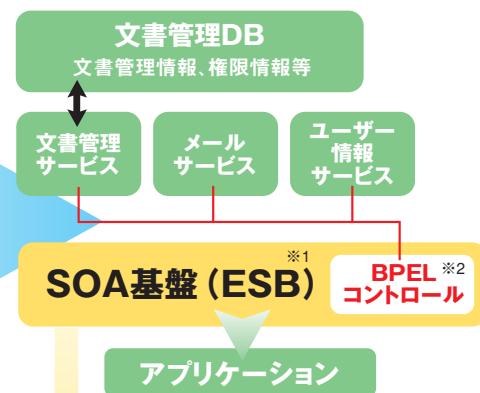
SRAグループの先進技術



SOAの基本機能をオープンソースソフトウェアで実現

SOAのトータルソリューションを提供

SRAグループが提供するSOAサービス



SRAグループのSOAのメリット

- ビジネス環境の変化への素早く対応
- 再利用性の向上
- 段階的導入・拡張が可能
- ウェブサービスによる企業間システム連携に対応
- 標準化によりベンダ非依存のシステム構築が可能

※1 ESB：オープンな標準仕様で開発されたサービス群を相互連携させる基盤。

※2 BPEL：SOAの基本機能（BPELエンジンを使うことでサービスを自由に組み合わせることが可能になる）

オープンソースの技術優位を活かし、「SOA基盤 ASIMA」を販売、サポート

ASIMAとは、SOAを低コストで効率よく実現するため、オープンソースをベースに構築された開発環境です。
ASIMAにより、SOAの試行から本格的なシステム構築までの強力な機能で、幅広く実現します。

■SRAが提供する「SOA開発／実行基盤」の導入効果



SRAグループの国内・海外のネットワークを活用し、グループシナジーのさらなる強化を図ります

グループのグローバルソーシングの一翼を担うことを目的に
Software Research Associates South East Asia Pte. Ltd.を設立

SRA (Europe) B.V.
(オランダ・アムステルダム)

ヨーロッパ

大連愛鴻軟件有限公司
SRA大連駐在員事務所
(中国・大連)

アジア

SRA India Private Limited
(インド・バンガロール)

Software Research Associates
South East Asia Pte.Ltd.
(シンガポール)

ボールダー研究所
(アメリカ・コロラド州)

北米

SRA OSS, INC.
InterTech Data Systems, Inc.
(アメリカ・カリフォルニア州)

海外

SRA AMERICA, INC.

システムコンサルティングを柱に、システム開発や導入、運用管理、ヘルプデスクサービスなど高品質、高信頼性のグローバルサポートサービスを提供しています。

SRA (Europe) B.V.

システムコンサルティングからシステム構築および開発、導入、運用管理など、総合ITサービスとインド拠点を活用した遠隔システム管理サービスを提供しています。

SRA India Private Limited

インド人SEを活用したグローバルソーシングの拠点として、業容の拡大に取り組んでいます。

InterTech Data Systems, Inc.

米国企業の日本進出に関わるコンサルティング業務を行っています。

大連愛鴻軟件有限公司

中国におけるオフショア開発の拠点として、業容の拡大に取り組んでいます。

SRA OSS, INC.

オープンソースビジネスの世界市場を視野に入れた事業を開始し、SRA独自の付加価値の高いサービスおよびプロダクトを提供しています。

Software Research Associates South East Asia Pte. Ltd.

日本国内企業がオフショア開発を有効活用するための中継機能を果たすと同時に、シンガポール現地企業に対し、品質の高いシステムを提供いたします。

株式会社SRAホールディングス
3セグメントを世界展開するSRAグループ
各社の統括管理

システム開発事業

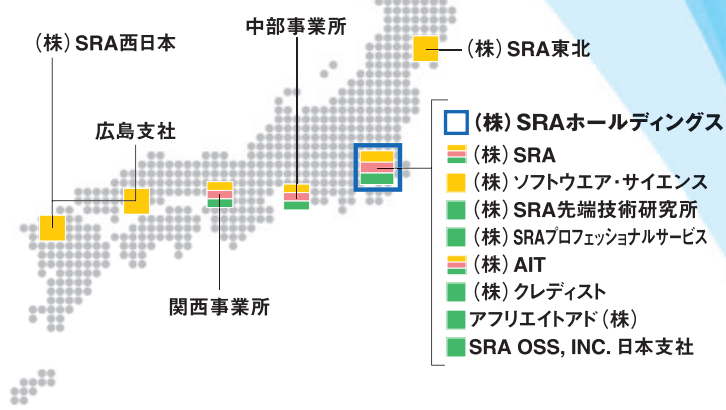
ネットワーク・システム
サービス事業

コンサル・サービス事業



SRA AMERICA, INC.
(アメリカ・ニューヨーク州)

南米



国内

株式会社SRA

先端技術を活用したシステム開発、高付加価値なネットワーク・システムサービスに加え、オープンソースソフトウェアの技術優位性を活かしたSOAビジネスの本格的な展開に取り組んでいます。

株式会社ソフトウェア・サイエンス

ソフトウェア・サイエンス独自の柔軟性と高い技術力を活かし、高品質なシステムを提供します。

株式会社SRA西日本

半導体・自動車および組み込みソフトウェア等を得意分野としており、システム構築を提供しています。

株式会社SRA東北

豊富な経験とノウハウをもとに、電力、文教、地銀の3分野を柱に、地域密着型のサービスを提供しています。

株式会社SRA先端技術研究所

当社グループの研究開発会社として、SPI/SPA関連の動向調査やオブジェクト指向技術等の適応評価を行っています。

株式会社SRAプロフェッショナルサービス

IT企業のビジネスパートナーとして、IT技術者の人材派遣サービス、教育・研修コンサルティングおよび運営サービスを展開しています。また、SRAグループのシェアードサービスセンターとして、間接業務全般に関わるサポートも担当しています。

株式会社AIT

ソリューション・プロバイダーとしてコンサルティングから開発・導入・保守・運用までをシームレスに提供しています。IBM製品群を中核に据えた情報システムの構築等、最先端の高い技術力でお客様の戦略情報システム構築を支援しています。

株式会社クレディスト

ASP事業、ネットワーク・ライセンス管理のサポート等のソフトウェア関連サービスを提供しています。

アフリエイトアド株式会社

OSSの先進性とインターネット技術を駆使した新しいビジネスモデルであるホームサーバーによるインターネット広告事業を行っています。

3つのセグメントを柱にSRAグループは、高付加価値サービスを提供いたします。

- システム開発事業
- ネットワーク・システムサービス事業
- コンサル・サービス事業



システム開発事業

各種アプリケーション／マルチメディア、
eコマース／インフラ(OS関連)

金融、通信、電力をはじめとするあらゆる業種の業務システムをJAVA、OSSおよびネットワーク等の先端技術を活用して構築するだけでなく、ソフトウェアメンテナンスまでのライフサイクル全般における総合サービスを提供します。

当期の概況

主として金融機関、流通業および製造業向けの売上高が増加した結果、当事業の売上高は217億1百万円（前連結会計年度比6.4%増）となりました。

ネットワーク・システムサービス事業

ネットワーク・ソリューション／
iDC（インターネットデータセンター）／
キャンパスネットワーク

刻々と進化するネットワークの信頼性向上とセキュリティ強化の技術を追求し、企業経営のバックボーンとなるネットワークシステムを構築します。また、リモート監視サービス、ハウジングサービスなど、さまざまなニーズに最適なサービスも提供します。

当期の概況

学校関連の受注は横ばいだったものの、企業向けの受注が増加したことから、当事業の売上高は43億92百万円（前連結会計年度比3.1%増）となりました。

コンサル・サービス事業

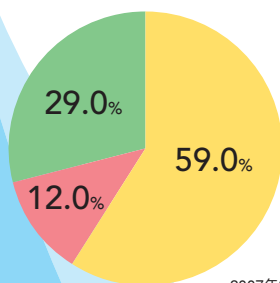
コンサルテーション／
Linuxプロフェッショナルサービス／
ソフトウェアプロダクト

情報システムに関するコンサルティングから分析、システム構築まで、それぞれの企業に最適なアプリケーションを用い、統合的なソリューションを提案し、企業経営を強力に支援します。

当期の概況

一部の連結子会社において機器販売が増加したため、当事業の売上高は、106億72百万円（前連結会計年度比12.3%増）となりました。

売上高構成比



2007年3月31日現在

事業セグメント別業績の推移

(単位：百万円)

SRAホールディングス(連結)

SRA(連結)

事業セグメント	項目	2007年3月期	2006年3月期
		当期	前期末
システム開発事業	売上高	21,701	20,387
	営業利益	3,382	2,037
ネットワーク・システムサービス事業	売上高	4,392	4,258
	営業利益	884	945
コンサル・サービス事業	売上高	10,672	9,499
	営業利益	1,210	1,089

(注) 営業利益は、セグメント間の内部取引を含んでおり、配賦不能な営業費用を含んでおりません。

SRAホールディングス(連結)の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善と設備投資の増加が継続するとともに、雇用情勢にも改善がみられ、景気は引き続き回復基調で推移しました。

情報サービス産業においては、好調な企業業績を背景にして、金融機関を中心に戦略的IT投資は拡大し、総じて堅調に推移しました。しかしながら、高品質、低価格、短納期に加えて高度化、多様化する顧客ニーズに対して、迅速・的確な対応が迫られており、ビジネス環境は厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、グループ経営の運営体制を強化し、持続的・安定的な事業の発展と拡大によりグループ全体の企業価値の向上を図るため、平成18年9月30日に当社は株式会社SRAとの間で株式交換を行い、当社グループは純粋持株会社体制に移行しました。この新経営体制において、株式会社SRAホールディングスは、グループの統括会社としてグループ全体の経営戦略機能と経営管理機能を担い、株式会社SRAをはじめとする事業子会社群は、その傘下で事業活動に専念することとなりました。

持株会社体制への移行に伴い、株式会社SRAは9月26日付で上場廃止となり、9月30日より当社が東京証券取引所市場第一部に上場しました。

当連結会計年度の経営成績につきましては、中核事業会社である株式会社SRAにおいては、受注は堅調に推移し、生産面ではプロジェクトの適正な運営管理により不採算の発生防止に努めるとともに、引き続き販管費の抑制に取り組んだ結果、売上高、利益ともに過去最高の成績を収めることができました。また、他の主要なグループ会社においても、増収増益の業績となりました。

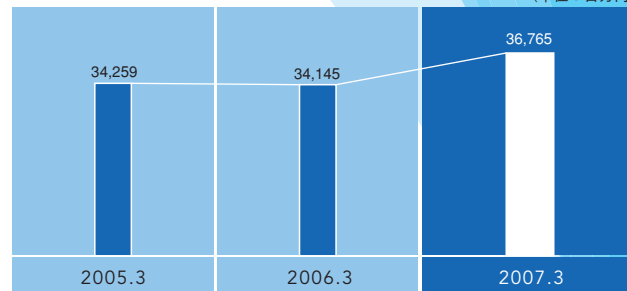
併せて、今後の成長に向けた布石を打つため、OSS（オープンソースソフトウェア）を最大限に活用したSOA開発基盤「ASIMA」やOSS版アプリケーション開発・実行プラットフォーム「OpenVision」を発表する等OSSビジネスの拡充を図り、さらには自動車業界向けと組込系の事業拡大にも取り組みました。

これらの結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は367億65百万円（前連結会計年度比7.7%増）となりました。損益面におきましては、経常利益は売上増に伴う粗利益の増加、粗利益率の向上、生産性の向上、販管費抑制の継続等により29億23百万円（前連結会計年度比65.9%増）、当期純利益は横浜の技術センター売却に伴う固定資産売却益ならびに固定資産除却損等を計上した結果、20億15百万円（前連結会計年度比115.9%増）となり、いずれも前年度実績を大幅に上回る好調な結果となりました。

※前連結会計年度比は、株式会社SRAの平成18年3月期連結業績との比較

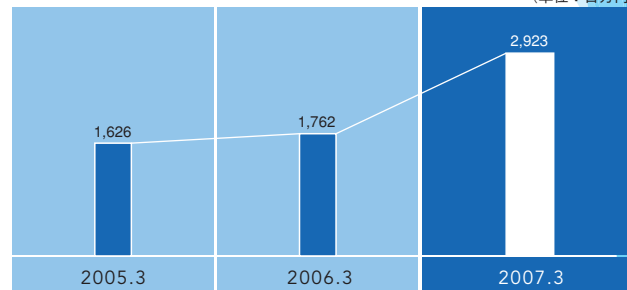
売上高

(単位：百万円)



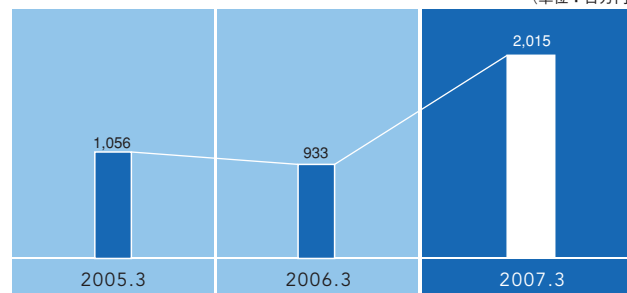
経常利益

(単位：百万円)



当期純利益

(単位：百万円)



※2005.3および2006.3は、株式会社SRAの連結業績

株式会社SRAホールディングス（連結）

▶ 連結貸借対照表

（単位：百万円）

	SRAホールディングス	SRA（連結）
科 目	当期末 (平成19年3月31日現在)	前期末 (平成18年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,306	6,003
受取手形及び売掛金	7,790	7,450
有価証券	1,999	—
たな卸資産	846	767
繰延税金資産	383	405
その他	689	438
貸倒引当金	△ 5	△ 10
流動資産合計	20,010	15,054
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	95	301
機械装置及び運搬具	106	112
土地	0	1,002
その他	33	38
有形固定資産合計	237	1,453
無形固定資産		
ソフトウェア	568	691
その他	31	31
無形固定資産合計	600	723
投資その他の資産		
投資有価証券	1,919	2,010
繰延税金資産	998	1,563
差入保証金	556	551
その他	357	320
貸倒引当金	△ 8	△ 0
投資損失引当金	△ 50	△ 24
投資その他の資産合計	3,774	4,421
固定資産合計	4,611	6,598
資産合計	24,622	21,652

	SRAホールディングス	SRA（連結）
科 目	当期末 (平成19年3月31日現在)	前期末 (平成18年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,041	2,549
短期借入金	2,446	2,484
未払法人税等	615	727
未払消費税等	362	332
未払費用	1,169	684
賞与引当金	679	675
役員賞与引当金	54	—
その他	737	556
流動負債合計	9,106	8,010
固定負債		
社債	300	300
長期借入金	32	30
退職給付引当金	3,149	2,957
役員退職慰労引当金	375	361
負ののれん	25	—
固定負債合計	3,882	3,650
負債合計	12,989	11,660
少数株主持分		
少数株主持分	—	130
資本の部		
資本金	—	2,640
資本剰余金	—	2,881
利益剰余金	—	4,353
その他有価証券評価差額金	—	859
為替換算調整勘定	—	21
自己株式	—	△ 893
資本合計	—	9,862
負債・少数株主持分及び資本合計	—	21,652
純資産の部		
株主資本	10,776	—
資本金	1,000	—
資本剰余金	4,519	—
利益剰余金	6,151	—
自己株式	△ 894	—
評価・換算差額等	834	—
その他有価証券評価差額金	796	—
為替換算調整勘定	37	—
新株予約権	9	—
少数株主持分	11	—
純資産合計	11,632	—
負債・純資産合計	24,622	—

▶ **連結損益計算書** (単位：百万円)

科 目	SRAホールディングス	SRA(連結)
	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	36,765	34,145
売上原価	29,592	28,340
売上総利益	7,173	5,804
販売費及び一般管理費	4,324	4,085
営業利益	2,848	1,719
営業外収益	151	108
営業外費用	75	66
経常利益	2,923	1,762
特別利益	987	111
特別損失	295	122
税金等調整前当期純利益	3,615	1,751
法人税、住民税及び事業税	936	716
法人税等調整額	630	65
少数株主利益	31	36
当期純利益	2,015	933

▶ **連結キャッシュ・フロー計算書** (単位：百万円)

科 目	SRAホールディングス	SRA(連結)
	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,846	570
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,665	△ 403
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 219	△ 394
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	1
現金及び現金同等物の増減額	4,301	△ 225
現金及び現金同等物の期首残高	5,617	5,808
子会社の新規連結による 現金及び現金同等物の増加額	—	35
現金及び現金同等物の 期 末 残 高	9,919	5,617

▶ **連結株主資本等変動計算書** 当期（平成18年4月1日から平成19年3月31日まで） (単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			新株 予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	2,640	2,881	4,353	△ 893	8,981	859	21	880	—	130	9,992
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当（注）	—	—	△ 172	—	△ 172	—	—	—	—	—	△ 172
役員賞与（注）	—	—	△ 45	—	△ 45	—	—	—	—	—	△ 45
当期純利益	—	—	2,015	—	2,015	—	—	—	—	—	2,015
逆取得による資本金振替額	△ 1,640	1,637	—	—	△ 2	—	—	—	—	—	△ 2
その他	—	—	—	△ 0	△ 0	—	—	—	—	—	△ 0
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	△ 62	16	△ 45	9	△ 118	△ 154
連結会計年度中の変動額合計	△ 1,640	1,637	1,797	△ 0	1,794	△ 62	16	△ 45	9	△ 118	1,640
平成19年3月31日残高	1,000	4,519	6,151	△ 894	10,776	796	37	834	9	11	11,632

（注）平成18年6月の定時株主総会における利益処分項目であります。

株式会社SRA（個別）

▶ 貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当期末 (平成19年3月31日現在)	前期末 (平成18年3月31日現在)
資産の部	21,671	16,975
流動資産	16,545	10,016
現金及び預金	6,110	4,016
受取手形及び売掛金	4,703	4,864
有価証券	1,999	—
関係会社株式	2,625	—
たな卸資産	513	387
その他	593	751
貸倒引当金	△ 0	△ 2
固定資産	5,125	6,959
有形固定資産	161	1,380
無形固定資産	386	514
投資その他の資産	4,577	5,063
投資有価証券	1,763	1,864
関係会社株式	1,301	1,101
その他	1,661	2,251
貸倒引当金	△ 8	△ 0
投資損失引当金	△ 140	△ 152
資産合計	21,671	16,975
負債の部	10,010	8,129
流動負債	6,739	5,078
買掛金	1,614	1,266
短期借入金	1,754	1,804
その他	3,371	2,007
固定負債	3,270	3,051
長期借入金	26	—
退職給付引当金	2,878	2,692
役員退職慰労引当金	365	358
資本の部	—	8,846
資本金	—	2,640
資本剰余金	—	2,881
利益剰余金	—	3,370
その他有価証券評価差額金	—	848
自己株式	—	△ 893
負債・資本合計	—	16,975
純資産の部	11,660	—
株主資本	9,830	—
資本金	2,640	—
資本剰余金	2,881	—
利益剰余金	4,309	—
評価・換算差額等	1,829	—
その他有価証券評価差額金	1,829	—
負債・純資産合計	21,671	—

▶ 損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

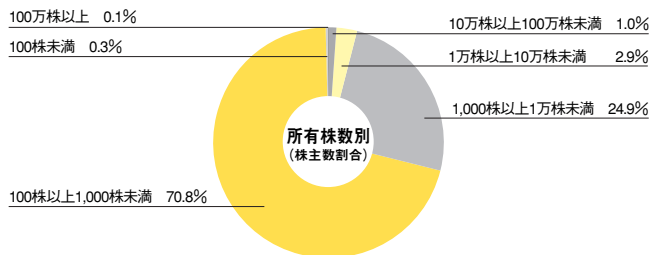
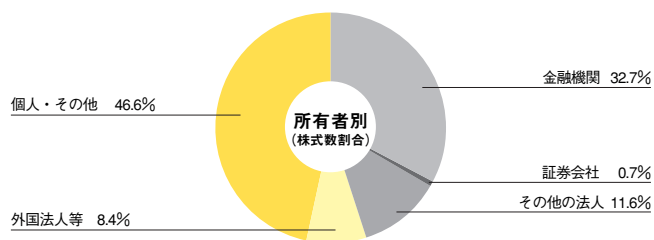
科 目	当 期 (平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで)	前 期 (平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで)
売上高	22,759	21,436
売上原価	18,110	17,864
売上総利益	4,649	3,572
販売費及び一般管理費	2,725	2,654
営業利益	1,923	917
営業外収益	168	94
営業外費用	133	37
経常利益	1,958	974
特別利益	988	134
特別損失	168	110
税引前当期純利益	2,778	998
法人税、住民税及び事業税	505	402
法人税等調整額	658	33
当期純利益	1,614	563
前期繰越利益	—	325
当期末処分利益	—	888

▶ 株式の状況 (平成19年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 60,960,000株
- 発行済株式総数 15,240,000株
- 株主数 2,388名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
丸森隆吾	2,363	15.5
株式会社SRA	1,400	9.1
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,324	8.6
SRAホールディングス社員持株会	821	5.3
第一生命保険相互会社	564	3.7
株式会社三菱東京UFJ銀行	560	3.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	549	3.6

●株式分布状況



▶ 会社概要 (平成19年3月31日現在)

商号 株式会社SRAホールディングス
SRA Holdings, Inc.

本店所在地 東京都豊島区南池袋二丁目32番8号

設立年月日 平成3年1月28日

資本金 10億円

主要な事業内容 システム開発事業、ネットワーク・システム
サービス事業およびコンサル・サービス事
業を営む事業会社の統括管理

従業員数 1,657名 (連結)

▶ 役員 (平成19年6月26日現在)

代表取締役会長 丸 森 隆 吾

代表取締役社長 鹿 島 亨

常務取締役 谷 野 寛

常務取締役 富 田 博

常勤監査役 室 伏 仁

常勤監査役 小 川 浩

監査役 櫻 井 通 晴

監査役 竹 谷 智 行

会計監査人 太陽ASG監査法人

創業40周年を節目にロゴマークとスローガンを刷新
—SRAグループ全社員の意志と力を結集しさらなる発展と事業拡大をめざします—



「変化」から「進化」へ ～我々は真のプロフェッショナルをめざします～

SRAグループは、株主のみなさまに
継続的な企業価値の向上を実感していただくために継続的な
「変化」すなわち「進化」していくことをお約束いたします。
新しい技術、喜ばれるソリューションを提供し続ける真のプロフェッショナル集団へ。
SRAグループはさらなる「進化」をとげていきます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(同送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-707-696 (フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.sra-hd.co.jp/e-koukoku/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
また、株券を喪失された場合の手続は「株券失効制度」により簡便となりました。詳細については株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-707-696で平日9時から17時までにご照会ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができます。お手続には振込指定書のご提出が必要ですので、株主名簿管理人に指定書用紙をご請求ください。